



THE GLOBAL AGING PREPAREDNESS INDEX

Bo8010 Yuhei Ishida

Public benefitとは？

Public benefit

Public pension: 年金

介護保護

医療保護

生活保護

要素①：高齢者がどれだけ公的給付金に頼っているか。

公的給付金に頼る → 改革は難しい

逆も
また
然り



要素②：どれだけの公的給付金の減少
が高齢者を貧困にするか。



給付金依存のカテゴリーの二つの指標

BENEFIT SHARE: $\frac{\text{total public benefit}}{\text{income}}$

BNEFIT CUT: 公的給付金を10%減らしたら貧困に陥る高齢者世帯の割合。

① Typical = 中央値：データを小さい順に（または大きい順に並べた時に、ちょうど真ん中に来るものの値。

② Average = 平均値：全データの合計をデータの個数で割ったもの。

Ex) 1, 2, 3, 4, 5, 10, 17 という7つのデータがあるとすると、

中央値：4

平均値： $(1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 10 + 17) \div 7$
 $= 6$

公的年金への依存度が低いと言う事は？

① = 私的な収入源には頼る

② = 働く高齢者の数が少なくない

③ = 退職した時のための積立金が少なくない

働く高齢者が多い、または多くなると予想される国：
ドイツ、オランダ、ポーランド

積立年金が多い、または増えている国：
ブラジル、ドイツ、イタリア、ポーランド、
ロシア、スウェーデン、

貧困高齢世帯：国の全ての世帯の収入の中間値の半分以下の収入しかない高齢者の世帯

Ex) 国民が5人の高齢者で

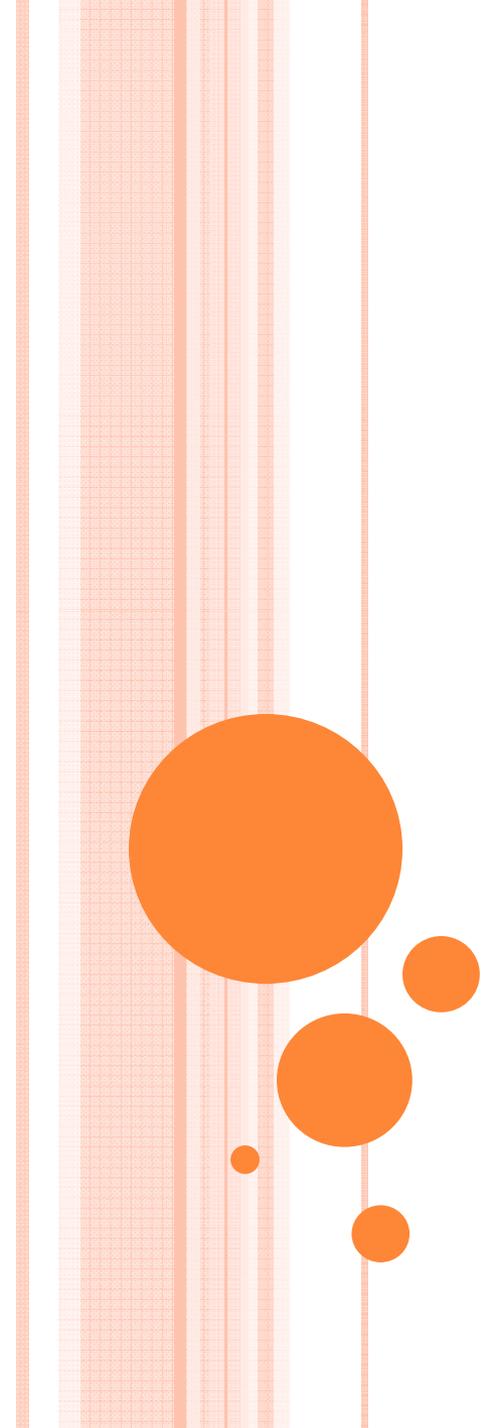
A: 100 B: 110 C: 120 D: 130 E: 140
円とそれぞれが稼いでいる。

この時の中間値は

120円

これの半分

60円以下しか収入が無い世帯 = 貧困高齢世帯



GAP INDEX (2) ②

鈴木麻友美

THE INCOME ADEQUACY INDEX

① Total Income (総収入)

全体の高齢者の1人当たりの収入に対する
高齢者以外の1人当たりの収入

☆Total Income Level

2040年の高齢者の手取り収入の平均と高齢者以外の手
取り収入の比率

☆Total Income Trend

2007～2040年の高齢者の手取り収入の平均と高齢者
以外の手取り収入の比率の%の変化



先進国の高齢者の総収入は高い

(i) public health benefit(公的医療給付)が含まれる

(ii) 手取り収入が適用される

発展途上国の高齢者の生活水準は低い

(i) 非公式経済部門(靴磨きや行商など)が大きい

(ii) 低開発の公的、私的定年制度

(iii) 年金だけでなく医療にかけるお金が少ない

⇒ 多くの高齢者は働き続ける(農業や低賃金のサービス業)



注目すべき例外2カ国

○ BRAZIL

- ・先進国の水準と比べても公的年金制度が寛大
 - ※公務員社会保障制度と民間企業年金制度(賦課方式)
 - ・高齢者へのpoverty protection(貧困援護)の最低基準が寛容
- 非公式経済部門の労働者への“rural pension”

○ CHILE

- ・personal accounts system(個人勘定制度)が大きく今のところ満額近く給付されている
- 高いreplacement rate(退職前所得比率)を生み出している



高齢者に対する高齢者以外の平均的収入比率が10%以上上がると予測されている国々

⇒オランダ、アメリカ、オーストラリア、イギリス、ドイツ

新興国の高齢者の生活水準は今日と同じく低いまま

→不十分な退職所得制度が原因

※中国では全体の労働力人口の34%だけが年金を受け取っている。インドでは13%だけ。

2040年に高齢者が比較的豊かだと予測される国々

⇒最小限の公的年金の削減、長期の医療給付増加

(オランダ、アメリカ、ブラジル)

⇔大きな公的年金削減、比較的小さい年金支給・高齢者の労働参加の伸び(フランス、日本、イタリア)



②Income Vulnerability(収入の脆弱性)

- ・middle class の高齢者の生活水準に焦点をあてる。
→退職制度の寛容さの変化で収入に影響があるから。
- ・各国の高齢者の貧困度合いも考慮する。

☆Median Income Level

2040年の高齢者の手取り収入の中央値に対する
高齢者以外の手取り収入の中央値の比

☆Median Trend

2007～2040年で高齢者の手取り収入の中央値に対する
高齢者以外の手取り収入の中央値の比の%の変化

☆Poverty Level

2007年(または最近の値)の全員に対する収入の中央値の
50%以下である高齢者の%



○ Mexico

総収入指標で唯一10%以上の下落を記録。

→基準が医療給付の急成長によって高くなった中央値の高齢者の生活水準の方が平均値の高齢者の生活水準より痛手をこうむる。

○ Italy

退職所得が中央値の高齢者の収入の80%を占めるのに対し、平均値の高齢者では58%である。

○ Netherlands

中央値の高齢者の生活水準が急速に成長すると予測。

○ Australia

“Super”(雇用主が退職年金掛金を年金基金に支払う義務)の成長



☆高齢者の生活水準が安定、上昇する国々
たとえ高齢者の公的給付への依存度が高くても
高齢者の依存コストの成長を抑制が簡単にできる

☆高齢者の生活水準が下落している国々
給付の削減や予定されているがまだ実行されていない
削減をやり抜くのは厳しいかも・・・

○ UK

1980年代に年金制度をインデクセーション(物価指数に連動させて決める制度)に切り替えた。賃金→物価

2007年に物価→賃金

○ China

出稼ぎ労働者(floating population)に都市の労働者のための年金制度に参加することを政府が仕向ける



○ India

積立年金の適用範囲をフォーマルセクターで働く人にもっと拡張するようにしている。

☆Poverty Level(Poverty Rates)

Netherlands:2% Korea:36%

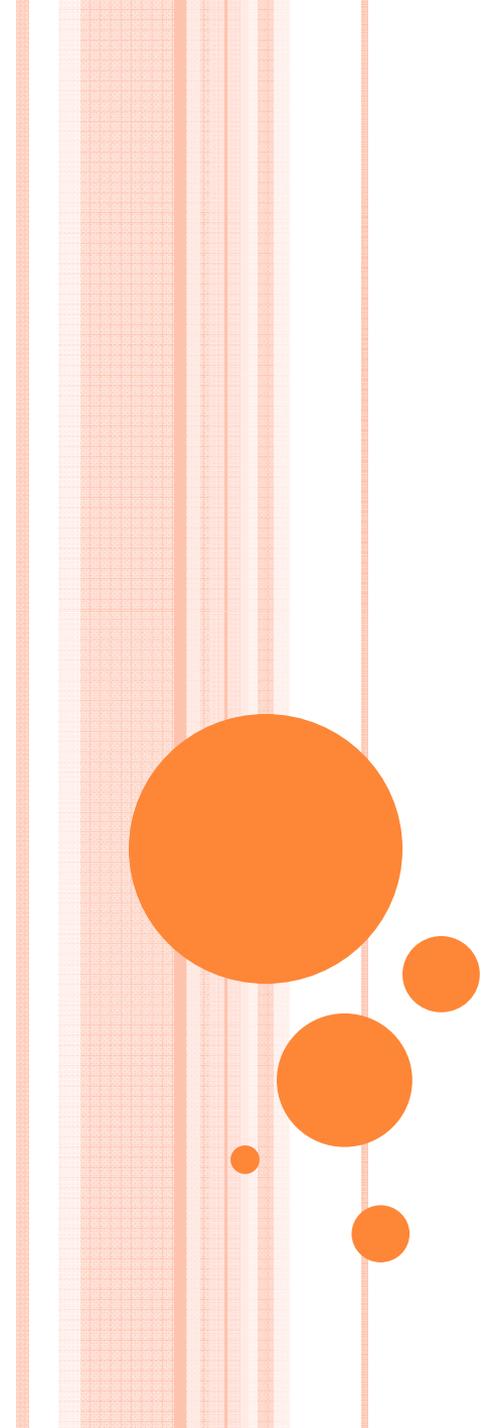
→高いPoverty Ratesは収入の不平等さの高い度合いとあまり寛容でない公的高齢者の貧困最低基準を反映。

○ Poland

広い公的年金の適用範囲、強い家族支援ネットワーク

→高齢者を貧困から救う模範





CATEGORY 3:

Family Support

藪下 華

★2つの指標

- Family ties:

⇒成人した子どもと同居する高齢者の割合

- Family size:

⇒それぞれの高齢者あたりの子どもの数の変遷？



OVERALL INCOME ADEQUACY RESULTS

- Total Income Category ⇒13位
- Income Vulnerability Category⇒16位
- Family Support category⇒2位 ★

⇒全体としては12位

インド→Family Support が健全に機能

中国、韓国は・・・



中国・(韓国)の「家族観」・対策

- 「未富先老」
- 「孝行」、「家族を大切にすること」が重視される→儒教
- 北京市による「9064」
→90パーセント・・・家庭でケア(家族による在宅介護)

6パーセント・・・地域でケア(政府支出によるコミュニティのサービスを受受)

4パーセント・・・施設でケア(民間の老人ホームに入居)

この数値目標は適切か・・・??

